

第 11 回海部会 WG 干潟観察会について

■第 11 回海部会 WG の目的

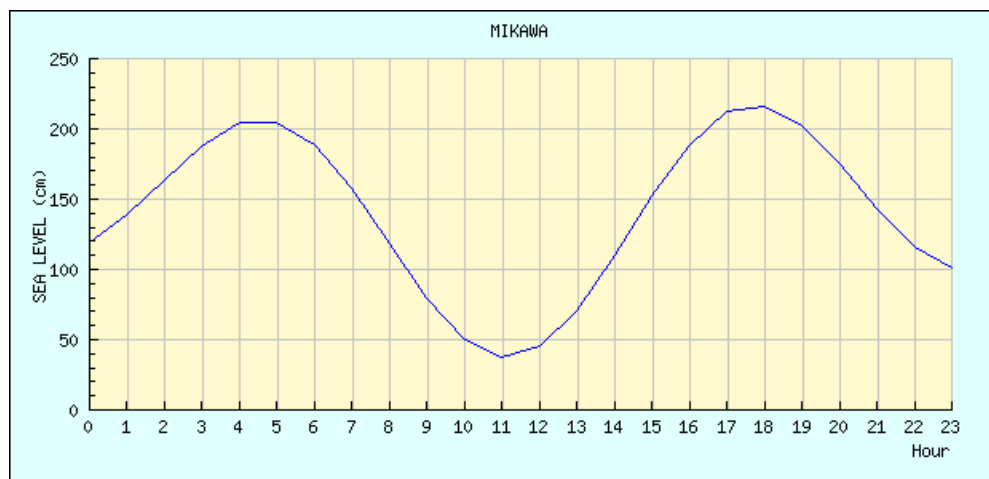
- 天然干潟と人工干潟の両方を見学し、望ましい干潟の姿について、皆で議論し、共有する
 - 生物、水質、景観などの様々な視点から両方の干潟を見学し、理解を深める
 - 各人の感想を話し合い、望ましい海、干潟の姿について共有する
 - 次年度以降のことも見据え、海部会のスタンスを皆で確認するような活動とする

■スケジュール

- ・ 日 時：平成 25 年 8 月 5 日（月）
- ・ 集合場所：東幡豆駅
- ・ 見学場所：東幡豆トンボロ干潟、西浦人工干潟

時間	内容	備考
10:00	東幡豆駅集合、移動（15 分）	バス移動
10:15	トンボロ干潟見学（40 分）	解説：石川氏
10:55	移動（10 分）	バス移動
11:05	西浦人工干潟見学（40 分）	解説：
11:08	干潮時刻	潮位 37cm
11:45	移動（15 分）	バス移動
12:00	昼食、休憩（60 分）	場所未定
13:00	ふりかえり、次回 WG に向けて（90 分）	場所未定
14:30	解散	

■潮位グラフ（8 月 5 日、三河地点）



■準備物

NO	準備物	備考
1	デジタルカメラ	
2	筆記用具	
3	サンダル以外の履物	怪我防止
4	帽子	その他熱中症対策
5	飲物	

■ルート



■参考：東幡豆町トンボロ干潟

西尾市の東幡豆町には、珍しいトンボロ現象が見られる、トンボロ干潟があります。干潮時には、トンボロ干潟の先端にある無人島の前島（まえじま）へ歩いて渡ることができず！潮の満ち引きで現れるため、タイミングによっては見ることができない可能性があり棲む生物がバラエティ豊かに織りなすトンボロ干潟をぜひ体験してください！



東幡豆町東幡豆海岸 交通案内

鉄道をご利用の場合

<名古屋方面から>
名古屋鉄道西尾線／蒲郡線経由で「東幡豆」駅で下車。（約1時間30分）
<豊橋方面から>
「豊橋」駅からJR東海道本線で「蒲郡」駅まで。名古屋鉄道蒲郡線に乗り換え、「東幡豆」駅で下車。（約45分）

車をご利用の場合

<東京方面から>
東名高速道路「音羽蒲郡IC」からオレンジロード、国道23号線、国道247号線を通して東幡豆町へ。（約40分）
<大阪方面から>
東名高速道路「岡崎IC」から国道248号線で蒲郡まで行き、そこからは国道247号線で東幡豆町へ。（約50分）

- 住所：愛知県西尾市東幡豆町小見行田20-3
- お問い合わせ／東幡豆漁業協同組合 0563-62-2068

特集 NEW

- 西尾の抹茶
- 吉良土野介を巡る旅
- 潮干狩りを楽しもう!
- 三ヶ根山のおじさい特集
- 西尾祇園祭
- 一色大提灯まつり
- 佐久島体験
- 西尾の秋まつり
- 吉良歴史さんぽ
- イルミネーション&初川の出
- 冬の西尾グルメ
- 冬の幡豆めぐり
- お花見情報 in 愛知こどもの国
- まーちゃっ&行く! 西尾de 体験ツアー
- 西尾市の花「バラ」特集
- 西尾市東幡豆町のトンボロ干潟



東幡豆海岸・前島トンボロ現象 (Time:0:44)

トンボロ現象とは

普段は海によって隔てられている陸地と島が、干潮時に干上がった海底で繋がる現象のことを言います。また、トンボロ現象によってできた干潟をトンボロ干潟と言います。

出典：西尾市観光協会 http://www.240kanko.com/?page_id=4382

■参考：西浦人工干潟

シーブルー事業：

このプロジェクトは、中山水道航路の浚渫で発生する良質な砂を利用した覆砂（良質な砂を海に撒き、砂でヘドロの表面を覆うこと）を中心とした事業です。

覆砂によって汚染物質の海中への溶出を抑制し、水質の改善を図ることができます。また、海辺に良質な砂を使い、干潟を形成したり、海底を浅くして海草などによる自然浄化作用を高める工夫も進めています。



■シーブルー事業実施地区



■三河湾西浦地区における干潟の再生

出典：国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所

http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/gaiyou/jigyuu_seablue.html